

議会報告会報告書

開催日時	平成26年1月30日（木）午後7時30分		終了：午後8時51分
開催場所	白山市民交流センター 大会議室		
参加人数	95人		
班構成	C班	横山 隆也、吉本 史宏、石地 宜一、安田 竹司、 北嶋 章光、宮岸 美苗、前多 喜良	

（主な質疑応答）

（質問1） 昨年から松任学習センターに指定管理者制度を導入しているが、悪い評判を聞く。指定管理者制度を導入することで費用の削減にもなっているいいことだが、今後松任文化会館、クレインも指定管理者制度を導入するので検証してほしい。

（答 弁） 12月会議の委員会で、事業者が指定期間中に仕様書に違反した場合は途中解約ができないか執行部に質問した。市は半年に一度事業評価をしており、10月に松任学習センターの指定管理者に対して改善命令を出し、その対応ができない場合は途中解約といったことも視野に入れ検討していくという答弁だった。

（質問2） 県議会と市議会の日程が重なり、県議会の傍聴に行っていると市議会が全く聞けないことがある。もう少し日程を変えてはどうか。

（答 弁） 県議会と重なる日もあるかもしれないが、御理解願いたい。なお、一般質問についてはインターネットでも録画配信しているので、御覧いただきたい。

（質問3） 一問一答形式で執行部側が一々演台に立って、議長に一礼して出ていく時間が無駄だと思う。拡声装置などを整備して自席で立って答弁するなど改善してはどうか。

（答 弁） 先般伺った視察先では自席からの答弁ということだった。議会運営委員会等で議論をしていきたい。

（質問4） 通年議会を導入して何がどのように変わったのか説明してほしい。

（答 弁） 通年議会は、突発的なことがあれば議長権限で本会議を開くことができる。そのことによって致し方ない専決事項を除けば、議会が機能しなければならない。市民の声をすぐに届けるように努めたい。

（質問5） 議員定数を削減した結果、議員の空白地区があることから、議会報告会を通じて意見を聞いていくということだが、市民の声を本当に聞き取ることはできるのか。

（答 弁） 類似団体の定数も見ながら、我々は何回も議論した結果、21名の定数になった。日々議会活動に努力しており、その一環として議会報告会を開催した。報告会を通じて、いろいろな御意見を聞いた中で執行部と議論していきたい。また、議会報告会の班編成については、議員全員で市域全体のことを考えるために、松任地域の報告会では松任地域出身の議員だけの編成ではなく、他地域の出身議員も出席する編成としている。

(質問6) 通年議会のチェック機能をフルに発揮して予算決算審議に集中することが、通年議会の目的ではないかと思う。その際に、白山市の借金を減らす中期目標及び長期目標を市長と議員が共有して、予算決算審議を行うよう要望したい。

(答 弁) しっかりと議論をして、市民に負担がふえないような財政でないといけないと思っている。いただいた御意見を真摯に受けとめて検討していく。

(質問7) 第2次避難施設への非難について、災害時には混乱が予想されるが、防災安全課に確認したところ、施設での体制については地域の皆さんでお願いしたいということだった。議員にはその辺りについて知恵を絞って解決をしてほしい。

(答 弁) 市防災安全課に確認し、市民に不安を与えないように検討していきたい。